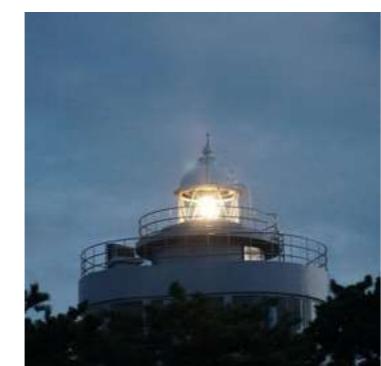




海と灯台プロジェクト 2024年度 実施報告書



新たな灯台利活用 モデル事業

事業の
認知向上
により
応募が集まり
27件
の応募が集まり
全**15地域**で取り組み
を実施



海と灯台利活用 チャレンジ企画事業

「新たな灯台利活用モデル事業」の
入門編となる助成事業を開始
15件 5事業
の応募があり
を実施

作家との連携による 灯台価値の創出

人気
作家**6人**による
灯台紀行エッセイをまとめた
書籍「灯台を読む」を刊行

初版**5,000部**



「海と灯台学」研究

様々な分野の専門家による
研究者ネットワークを構築

17トピック
で構成される

「海と灯台学ジャーナル」を発行



特別番組

「海と灯台 未来への輝き」

灯台利活用に取り組む人々を追った
ドキュメンタリーを全国ネットで放送

約64万人
が視聴



海と灯台 プロジェクト 2024 TOPICS

灯台ズーム前夜

今年度で、5年目となる
「海と灯台プロジェクト」。
灯台の魅力や価値
への注目が高まり、
活動の輪が着
実に拡大し、
さらに専門的に深
化を遂げています。



海と灯台 ウィーク2024

海上保安庁や自治体などと連携し
全国で灯台に関連した
イベントを実施

動員7万人以上

ポスターに使用する
キャッチコピーを公募

全国
から**4,737件**



海と灯台サミット2024

「灯台で○○やってみた」人たちが集結し
事例発表や提言を行うシンポジウムなどを開催

会場**202人** オン
ライン**290人** が参加

Project 1 海と灯台ウィーク2024

「灯台記念日」である11月1日から8日にわたり、

日本財団や海上保安庁、全国60の「海と灯台のまち」参画自治体や

灯台の利活用に取り組む全国20団体などとともに、

灯台の魅力発信イベントや灯台クリエイティブコンテストを展開。

期間中、灯台の魅力や活用事例、研究成果などを発表する

「海と灯台サミット2024」を東京都内で開催。

灯台の文化的価値を解説するパネルや写真などを展示する

「海と灯台展」も同時開催した。



Event ①

全国60か所以上で 海上保安庁関連イベント

普段は登れない灯台の特別公開や、パネル展示、シンポジウム、灯台保守のお仕事体験会など多彩なイベントを北海道から沖縄まで全国各地で開催。参加者に、「海と灯台ウィーク」オリジナル缶バッジをプレゼント。



Event ②

海と灯台サミット2024

11月3日、複合文化施設「スパイラル」(東京都港区)にて開催。第1部シンポジウムは、「灯台で○○やってみた」仕掛け人・実践者が登壇。第2部トークショーは、直木賞作家4人が「灯台を読む」をテーマに語り合った。



Event ③

海と灯台展

11月3日・4日、同会場にて開催。灯台の海洋文化遺産的価値を研究する「海と灯台学」研究者や書籍「灯台を読む」執筆作家の視点から見る灯台の紹介、灯台擬人化プロジェクト「燈の守り人」コーナーなどを通じて、灯台の多角的な魅力を伝えた。



Event ④

全国60市町村に 「海と灯台ステーション」

全国60市町村に「海と灯台ステーション」を開設。全65種類のご当地灯台ポスター掲示&オリジナル灯台缶バッジのプレゼントを実施し、灯台の魅力を訴求した。

Special Event

地域連携による 灯台スペシャルイベント

地域の人々や企業、放送局、自治体などが協働し、趣向をこらしたイベントを企画。灯台を楽しむ機会とともに、灯台を通じた地域の新しい魅力づくりに取り組んだ。



Contest

「いい風吹いてた。#灯台時間」 X投稿コンテスト

バラエティに富んだ灯台の魅力を表現し、灯台を素敵だと感じさせる作品を募集。





海と灯台サミット2024

第1部シンポジウムでは、「灯台で地域活性化」「灯台で〇〇やってみた」「海と灯台学」をテーマに、
灯台を活用した地域創生に取り組む仕掛け人、灯台でユニークな取り組みを実現させた実践者、
学識経験者による事例発表や提言など活発な議論を展開。

第2部は灯台を取材した直木賞作家4人が各地の灯台に刻まれた海の記憶を語り合うトークショー、
第3部は灯台利活用に関心を持つ自治体・企業担当者などが集う情報交換会を実施した。



開催日時

2024年11月3日(日)12:00~18:10

開催場所

スパイナル(東京都港区) + YouTubeライブ配信

開催概要

第1部シンポジウム(12:00~15:10)

- オープニング映像
(笹川会長アイスランド灯台紹介&メッセージ、海上保安庁メッセージ)
- 灯台で地域活性化(事例発表)、
クロストーク「灯台で〇〇やってみた」、海と灯台学
- シンポジウム総括&日本財団メッセージ(海野常務理事)



第2部 トークショー(15:45~17:00)

出演:門井慶喜氏・川越宗一氏
澤田瞳子氏・永井紗耶子氏／海野常務理事



第3部 情報交換会(17:20~18:10)

※同時開催「海と灯台展」

参加人数

シンポジウム・
トークショー ▶ 会場参加 202人
YouTubeライブ視聴 290人

情報交換会 ▶ 55人



取材メディア

計 17社 (テレビ14社、Web3社)

メディア掲載

計 227件 (テレビ26回、新聞3回、Web198メディア) ※12/2時点

二次的展開

トークショー音声が文藝春秋により各種メディアで配信(Spotifyなど)

反響

観覧者からの感想(アンケートより)

- * 灯台の楽しみ方、見方、その灯台にまつわる話…
さまざまな話を聞いて、より灯台を好きになりました
- * 学術的な分野から実践事例、トークショーと、メリハリのある構成で学べることが多かった。
「海と人と結びつける結節点としての灯台」という意義づけは、大変共感しました



第2部登壇 作家 澤田瞳子さんのX投稿

本日(時間としては昨日)、トークイベントに参加させていただいた「海と灯台サミット」。
研究発表・海と灯台学でうかがった東文研・石村智さんの「日本の航路文化のランド
マーク」には、身を乗り出して聞き入ってしまいました。門脇禎二センセの
丹後王国論の名が挙がったのも、個人的に嬉しい限り。



海と灯台ウィーク

2024.11.1 Fri - 11.8 Fri

Xにて展開した
クリエイティブ投稿
コンテスト
応募総数**476**件
昨年度から
163%増

灯台ウィーク用
ポスターの
キャッチコピーを公募
4,737件
もの応募が!

60全国
市町村
と連携し
「海と灯台ステーション」を開設
ご当地灯台ポスターの掲示&
オリジナル缶バッジ
配布を実施

「海と灯台サミット2024」
テレビ**26**社 新聞**3**社
WEB**198**媒体
で掲載!

海上保安庁・
地域団体と連携し
全国83か所
でイベントを実施
7万人以上
が来場!

特設WEBサイトを開設
11月1日~30日の期間に
24,252
ページビュー

情報交換会に
55名
が参加

「海と灯台サミット2024」
現地**202**人
さらにYouTubeライブ配信を
290人
がリアル視聴

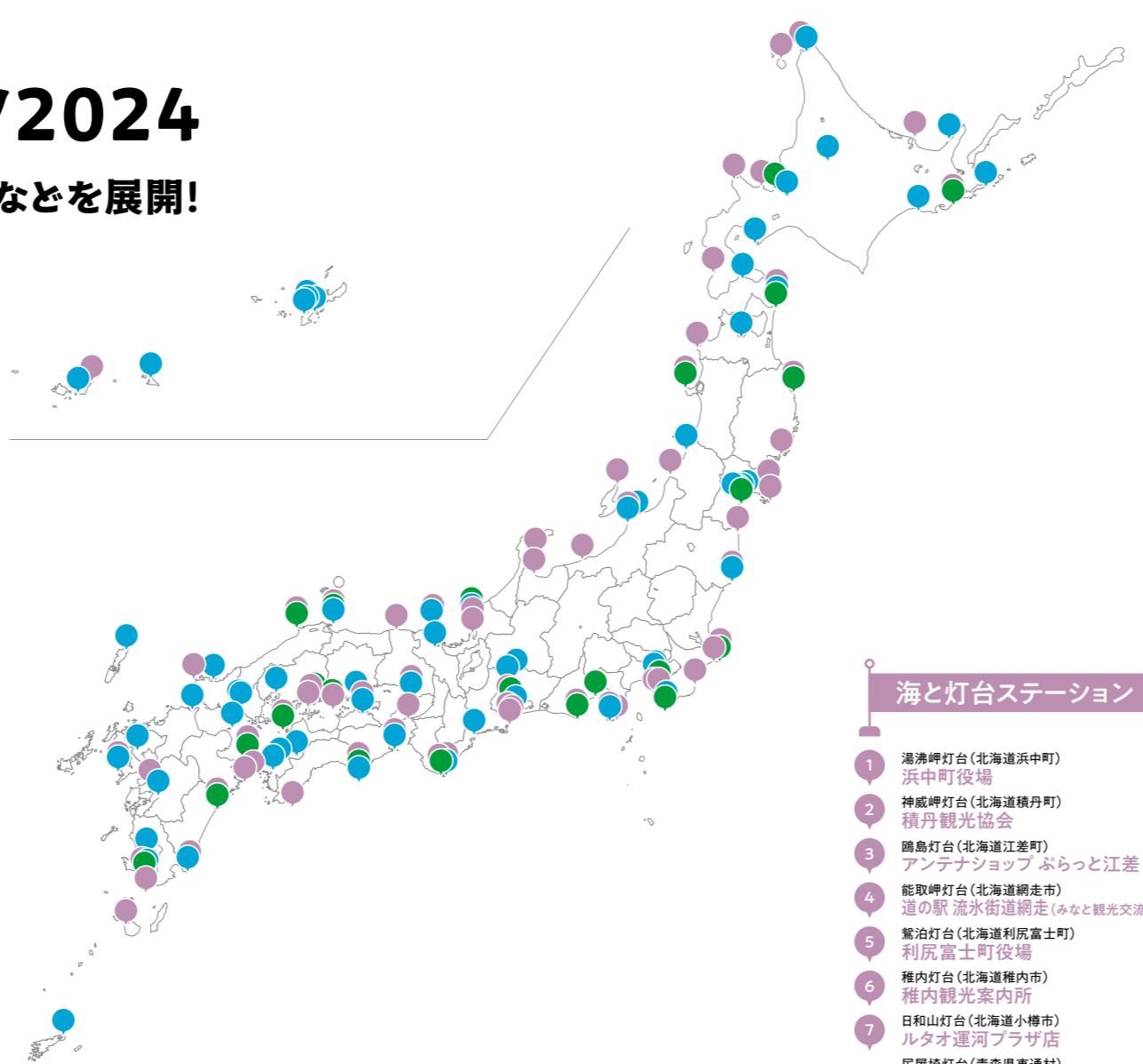


海と灯台ウィーク2024

全国150か所以上でイベントなどを展開!

海上保安庁主催イベント 60か所

- 稚内市立図書館 (北海道稚内市)
10月25日~11月8日 稚内海上保安部
- 札幌市青少年科学館 (北海道札幌市)
10月26日、27日 第一管区海上保安本部・小樽海上保安部
- イオンモール旭川西 (北海道旭川市)
10月26日、27日 留萌海上保安部
- 北方館 (北海道根室市)
10月26日~11月4日 根室海上保安部
- 函館市青函連絡船記念館摩周丸 (北海道函館市)
11月1日~11月30日 函館海上保安部
- 知床自然センター (北海道斜里町)
11月1日~11月8日 紋別海上保安部
- 釧路埼灯台 (北海道釧路市)
11月2日 釧路海上保安部
- 道の駅みたら室蘭 (北海道室蘭市)
11月9日 室蘭海上保安部
- 七ヶ浜町多目的広場 (宮城県七ヶ浜町)
10月27日 宮城海上保安部
- 花淵灯台 (宮城県七ヶ浜町)
10月27日 宮城海上保安部
- 仙台うみの杜水族館 (宮城県仙台市)
11月1日~4日 第二管区海上保安本部・宮城海上保安部
- 青函連絡船メモリアルシップ八甲田丸 (青森県青森市)
11月1日~8日 青森海上保安部
- 酒田灯台 (山形県酒田市)
11月2日 酒田海上保安部
- 鮎ヶ崎灯台 (岩手県宮古市)
11月2日、3日 釜石海上保安部
- 塩屋埼灯台 (福島県いわき市)
11月3日 福島海上保安部
- 尻屋埼灯台 (青森県東通村)
11月4日 八戸海上保安部
- 宮城県図書館 (宮城県仙台市)
11月26日~12月13日 第二管区海上保安本部
- 横浜第2合同庁舎 (神奈川県横浜市)
10月25日~11月5日 第三管区海上保安本部
- 横浜みなと博物館 (神奈川県横浜市)
11月1日 第三管区海上保安本部
- 野島埼灯台 (千葉県南房総市)
11月4日 千葉海上保安部
- 石廊埼灯台 (静岡県南伊豆町)
11月24日 下田海上保安部
- 紀北町バーキングエリア「始神テラス」 (三重県紀北町)
11月2日 尾鷲海上保安部
- 名古屋港海上交通センター (愛知県名古屋市)
11月1日 名古屋港海上交通センター
- 名古屋港海上交通センター (愛知県名古屋市)
11月2日 名古屋港海上交通センター
- 博物館明治村 (愛知県犬山市)
11月2日~4日 第四管区海上保安本部
- 伊勢湾海上交通センター (愛知県田原市)
11月9日 伊勢湾海上交通センター
- 宇和島市役所1階ロビー (愛媛県宇和島市)
10月21日~10月24日 宇和島海上保安部
- 経ヶ岬灯台 (京都府京丹後市)
10月26日 舞鶴海上保安部
- 舞鶴市立西図書館 (京都府舞鶴市)
10月31日~11月7日 第八管区海上保安本部
- 江崎灯台 (兵庫県淡路市)
11月3日 神戸海上保安部
- 櫻野崎灯台 (和歌山県串本町)
11月16日 田辺海上保安部



自治体・地域団体主催イベント 23か所

- 石狩灯台 (北海道石狩市)
10月26日 一般公開及び灯台ライトアップ
- 湯沸岬灯台 (北海道浜中町)
11月1日 灯台写真パネル展示
- 陸中黒崎灯台 (岩手県普代村)
8月1日~10月18日 第1回「陸中黒崎灯台 絵画・フォトコンテスト」
- 花淵灯台 (宮城県七ヶ浜町)
11月1日 一般公開
- 入道崎灯台 (秋田県男鹿市)
11月3日 入道崎灯台石焼フェス&体験ツアー
- 尻屋崎灯台 (青森県東通村)
11月4日 灯台ガイドツアー
- 清水灯台 (静岡県静岡市)
11月2日 一般公開
- 観音崎灯台 (神奈川県横須賀市)
11月3日 観音崎フェスタ
- 野島崎灯台 (千葉県南房総市)
11月3日 野島崎灯台夜間特別開放!灯台&星空観察会
- 御前崎灯台 (静岡県御前崎市)
11月10日 御前崎灯台150周年記念「風と灯台フェスティバル」
- 犬吠埼灯台 (千葉県銚子市)
11月15日~11月17日 灯台ワールドサミットin銚子
- 野間崎灯台 (愛知県美浜町)
11月23日 灯台ホリデイ in 野間崎灯台
- 潮岬灯台 (和歌山県串本町)
11月9日~10日 夕暮れ参観
- 美保関灯台 (島根県松江市)
10月20日 重文文化財 美保関灯台 特別公開
- 六島灯台 (岡山県笠岡市)
11月1日~8日 六島灯台ライトアップ
- 室戸岬灯台 (高知県室戸市)
11月2日、3日 第4回室戸岬灯台まつり
- 釣島灯台 (愛媛県松山市)
11月1日 杉作太郎とリリー・ランキーの「灯台ラジオ」
- 佐田岬灯台 (愛媛県伊方町)
11月4日 渚のエメラルドマルシェ
- 尾道灯台・大浜崎灯台 (広島県尾道市)
11月21日 おのみち灯台てらすプロジェクトシンポジウム
- 出雲日御碕灯台 (島根県出雲市)
11月23日 灯台FES日御碕2024
- 三国防波堤灯台 (福井県坂出市)
11月2日~8日 三国灯台まちあらき
- 薩摩長崎鼻灯台 (鹿児島県指宿市)
11月10日 薩摩長崎鼻灯台イベント
- 細島灯台 (宮崎県日向市)
11月4日 日向岬SDGsツアー2024

海と灯台ステーション 65灯台・71か所

- 湯沸岬灯台 (北海道浜中町)
浜中町役場
- 神威岬灯台 (北海道積丹町)
積丹観光協会
- 鷲島灯台 (北海道江差町)
アンテナショップ「ぶらっと江差」
- 能取岬灯台 (北海道網走市)
道の駅 流水街道網走(みとと観光交流センター)
- 鶴泊灯台 (北海道利尻富士町)
利尻富士町役場
- 稚内灯台 (北海道稚内市)
稚内観光案内所
- 日和山灯台 (北海道小樽市)
ルタオ運河プラザ店
- 尻屋崎灯台 (青森県東通村)
①野牛川レストハウス
②燈光会 尻屋崎支所(尻屋崎灯台内)
- 船作崎灯台 (青森県深浦町)
深浦町役場1F 観光課事務室
- 碁石崎灯台 (岩手県大船渡市)
碁石海岸インフォメーションセンター
- 陸中黒崎灯台 (岩手県普代村)
国民宿舎くろさき荘
- 大須崎灯台 (宮城県石巻市)
渚泊Station
- 伊王島灯台 (長崎県長崎市)
伊王島灯台
- 長崎鼻灯台 (鹿児島県長島町)
長崎海上保安部
- 鹿児島市立科学館 (鹿児島県鹿児島市)
ショッピングモール「メルカ」(岡山県玉野市)
- 都井岬灯台 (宮崎県串間市)
八代港 (熊本県八代市)
- 利立崎灯台 (鹿児島県奄美市)
残波岬灯台 (沖縄県読谷村)
- 中城海上保安部 (沖縄県沖縄市)
石垣海上保安部
- 瓦町FLAG (香川県高松市常磐町)
越前岬灯台 (福井県越前町)
- 青海島観光汽船スペース (山口県長門市)
越前岬灯台 (福井県越前町)
- 浦添浮標置場 (沖縄県浦添市)
第十一管区海上保安本部 (沖縄県那覇市)
- 生地鼻灯台 (富山県黒部市)
姫島灯台 (大分県島崎村)
- 新潟市水族館マリンピア日本海 (新潟県新潟市)
江崎灯台 (兵庫県淡路市)
- 江崎灯台 (兵庫県淡路市)
淡路市役所 産業振興部 商工観光課
- 地島灯台 (和歌山県和歌山市)
和歌山市役所
- 櫻野崎灯台 (和歌山県串本町)
南紀串本観光協会
- 潮岬灯台 (和歌山県串本町)
南紀串本観光協会
- 安房崎灯台 (神奈川県三浦市)
城ヶ島海上イケス釣堀 J'sフィッシング
- 城ヶ島灯台 (神奈川県三浦市)
城ヶ島海上イケス釣堀 J'sフィッシング
- 能生港灯台 (新潟県糸魚川市)
道の駅 マリンドリーム能生 インフォメーションセンター
- 城ヶ島灯台 (神奈川県三浦市)
美保関灯台 (島根県松江市)
- 城ヶ島灯台 (神奈川県三浦市)
①美保関灯台ビュッフェ
②美保関灯台
- 六島灯台 (岡山県笠岡市)
笠岡市六島前港浦 待合所

- 大久野島灯台 (広島県竹原市)
竹原市観光協会
- 佐木島灯台 (広島県三原市)
三原市役所 経済部 観光課
- 角島灯台 (山口県下関市)
角島灯台公園展望ギャラリー(ギャラリー館)
- 蒲生田岬灯台 (徳島県阿南市)
阿南市役所
- 高松港玉藻防波堤灯台 (香川県高松市)
香川・高松ツーリストインフォメーション
- 佐田岬灯台 (愛媛県伊方町)
佐田岬観光公社
- 角島灯台 (伊方町観光交流施設 佐田岬はなはな観光案内所内)
- 釣島灯台 (愛媛県松山市)
坂の上の雲ミュージアム
- 足摺岬灯台 (高知県土佐清水市)
ジョン万次郎資料館
- 室戸岬灯台 (高知県室戸市)
室戸市観光協会
- 伊王島灯台 (長崎県長崎市)
長崎市伊王島灯台記念館
- 湯島灯台 (熊本県上天草市)
①上天草市役所 湯島出張所
②天草四郎観光協会
- 鶴御崎灯台 (大分県佐伯市)
佐伯市観光案内所
- 水ノ子島灯台 (大分県佐伯市)
佐伯市観光案内所
- 細島灯台 (宮崎県日向市)
日向市役所市民ホール
- 鞍崎灯台 (宮崎県日南市)
日南市観光・クルーズ振興課
- 薩摩長崎鼻灯台 (鹿児島県指宿市)
薩摩長崎鼻灯台
- 屋久島灯台 (鹿児島県屋久島町)
屋久島観光協会 安房案内所
- 佐多岬灯台 (鹿児島県南大隅町)
佐多岬観光案内所
- 平久保崎灯台 (沖縄県石垣市)
石垣市役所 企画部観光文化課
- 残波岬灯台 (沖縄県読谷村)
残波岬灯台

Project ②

新たな灯台利活用モデル事業

灯台の存在価値を高め、灯台を起点とする海洋文化を

次世代へと継承していくことを目的に、

灯台の様々な利活用モデル創出に取り組む団体を公募。

厳正な審査を経て15団体を採択し、

全国15地域で灯台の利活用に関する調査検証や実証事業などに取り組んだ。



調査検証 コース

対象とする単体または複数の灯台固有の歴史や役割に関する調査を行うとともに、「海と灯台」を活かした新事業を立ち上げることを目指して、仮説の検証を行った。



能取岬灯台
北海道網走市



尻屋崎灯台
青森県東通村



大間崎灯台
青森県大間町



入道崎灯台
秋田県男鹿市



野島崎灯台
千葉県南房総市



門脇崎灯台
静岡県伊東市



室戸岬灯台
高知県室戸市

利活用実施 コース

対象とする灯台の存在意義を高め、海洋文化資産として未来に継承することを目的に、イベント開催やコンテンツ制作、体験プログラム実施、灯台や旧官舎等の施設の整備などを行った。



神威岬灯台
北海道積丹町



生地鼻灯台
富山県黒部市



野間崎灯台
愛知県美浜町



安乗崎灯台
三重県志摩市



出雲日御崎灯台
島根県出雲市



佐田岬灯台
愛媛県伊方町



大バエ鼻灯台・
生月長瀬鼻灯台
長崎県平戸市



細島灯台
宮崎県日向市

中間報告会・成果報告会を開催

一般公開したことにより、幅広い方々に対し、灯台利活用に関する情報提供を行った。



成果
報告会の
動画





能取岬灯台コンソーシアム

能取岬灯台 利活用プロジェクト

対象灯台：能取岬灯台（北海道網走市）

最終成果
報告書・
報告動画



背景と目標

- 国内外様々な映画やCMなどのロケ地に。
網走市を代表する景観のひとつ
- 能取岬は独自のストーリーを持ち、
観光地としてのポテンシャルが高い
- 公共交通機関が未整備、駐車場の収益化もなく
観光消費の機会損失が生じている



流水、クジラ、オホーツク人など、独自のストーリーが存在

付加価値をつけ、観光収益事業化。
能取岬灯台を集客の目玉とした観光消費を向上させる

調査検証事業

- ① 能取岬灯台の基礎調査
- ② 観光コンテンツ造成調査

計4か所の灯台・観光地の視察や
観光客へのヒアリング調査と
旅行関係者のファムトリップを実施

- ③ 観光コンテンツデザイン費・
設計費・建設費の見積
- ④ 収益化調査
- ⑤ 二次交通調査
- ⑥ 経済波及効果調査・報告書作成



導き出したストーリー

願いの灯台

～ノトロのヴィーナスが導く未来～



能取岬灯台を、船だけでなく
立ち寄った人々を導く
旅人の願いをかなえる場所とする

あきらかになった課題とその解決のための施策案

- 課題
- ① 旅行者ニーズがある
企画の立案
 - ② インフラ等の制約と低コストを
考慮した運用の実現
 - ③ 地域全体への
経済波及効果の実現
 - ④ 市街から灯台への
二次交通の実現

- 施策案
- ① 広くアイデアを組み込んだ
企画の立案
 - ② 持続可能なローコスト
オペレーションの実現
 - ③ 観光協会の強みを活かし
経済波及へ結び付ける
 - ④ 観光地作りと二次交通の両輪として
双方が盛り上がるようする



尻屋崎灯台活用協議会

「夢みる 尻屋崎灯台」事業

対象灯台：尻屋崎灯台（青森県東通村）



調査検証の目標

～あきらかにしたい仮説

灯台をテーマにした
観光施設の設置を見据えた、
ソフト事業の検討

■ 東通村が2024年度から3か年計画で、
尻屋崎に観光施設を設置

■ 2026年、尻屋崎灯台は点灯150周年を迎える



最終成果
報告書・
報告動画



調査検証事業

① 尻屋崎灯台の基礎調査

氣仙修さんによるジオガイドを実施。
観光ガイドの必要性を実感



② アンケート調査

「尻屋崎観光モニターツアー」に帯同し、
参加者アンケートを実施



③ 灯台観光を考える ワークショップ



④ 商品開発

尻屋崎灯台の焼き印入り肉まんを開発



⑤ 動画コンテンツの制作・公開

演劇「証」と、地域の人々の証言、尻屋崎灯台の基礎情報を盛り込んだ動画を制作



⑥ 灯台利活用事例の視察・ヒアリング

⑦ 灯台ガイドツアーの実施



⑧ 成果報告会で発表





大間崎灯台利活用コンソーシアム

本州最北端 リブランディング事業

対象灯台: 大間崎灯台(青森県大間町)

最終成果
報告書・
報告動画



背景と目標

- 大間崎灯台は大間崎のシンボルだが、風景として楽しむのみ
- 漁業者以外の一般の町民と灯台の接点がなく、その歴史や価値等を知る機会がない
- 「船でしか行けない」を逆手に取った活用法を見出したい



➡ 「本州最北端の地」大間崎とともに、
大間崎灯台のある「本州最北端の島」としてPR。話題性と相乗効果を狙う

調査



① 大間崎灯台の基礎調査

基礎データ、設置された経緯、関係者インタビュー

② 連携や事業化の可能性調査

関係者でのワークショップ(検証事業の前後に2回実施)

検証事業

① 灯台ウォッチングクルーズの開発と収益事業化検証

手軽に参加できる特別体験として、満足度が高かった。事業化の可能性あり!



② 灯台グッズの開発と商品化検証販売

灯台とシンクロ写真をSNSで拡散

- しろくろ灯台サイダー
- しろくろTシャツ
- 灯台缶バッジ
- しろくろタオル



③ 「突端フェス」の試験実施による収益事業化検証

和太鼓演奏や吹奏楽部の演奏、大間小唄の流し踊り、マグロ漁師デュオの海歌ほか

来場者
約300人



あきらかになった課題とその解決のための施策案

課題

弁天島漁船クルーズ(灯台ウォッチングクルーズ)の効果的な集客と運営体制を確立する

施策案

収益化をはかるためのコンテンツの磨き上げ

- 【集客】宿泊施設などと連携し、事前申込制にする
【内容】・約40分の簡易ガイド付きプログラム
・スプラッシュを楽しめるエンタメ化
・マニア向け灯台ツアーの開発 など



マグロ漁師とも連携!



入道埼灯台利活用事業実行委員会

入道埼灯台 利活用推進事業

対象灯台：入道埼灯台（秋田県男鹿市）

最終成果
報告書・
報告動画



調査検証の目標

～あきらかにしたい仮説

入道埼灯台を拠点とした
男鹿半島全体の
ジオパークと
郷土料理の関係性は、
これからの新しい
観光事業となりえる



△ジオパーク

入道埼灯台が建つエリアは、日本が
大陸と繋がっていた7,000万年前の
恐竜がいた時代にできた地層の岩
石でできている



郷土料理「石焼料理」▶

入道埼灯台の下の地層にある
「溶結凝灰岩」を使用

調査検証事業

入道埼灯台とジオパークと
郷土料理に関する

- 1 基礎調査
- 2 有識者検討会
- 3 ワークショップ

（2024年11月3日（日）、同時に試験実施）

- 4 モニターツアー
- 5 イベント「入道埼灯台石焼フェス」

数年ぶりの賑わい！ 来場者は約1,400人
同日の灯台参観者はシーズン最高730人



➡ 入道埼灯台を中心としたエリアの
新しい魅力を再確認！



メディア露出

テレビ・ラジオ・新聞等のべ9媒体、
リリース転載153回



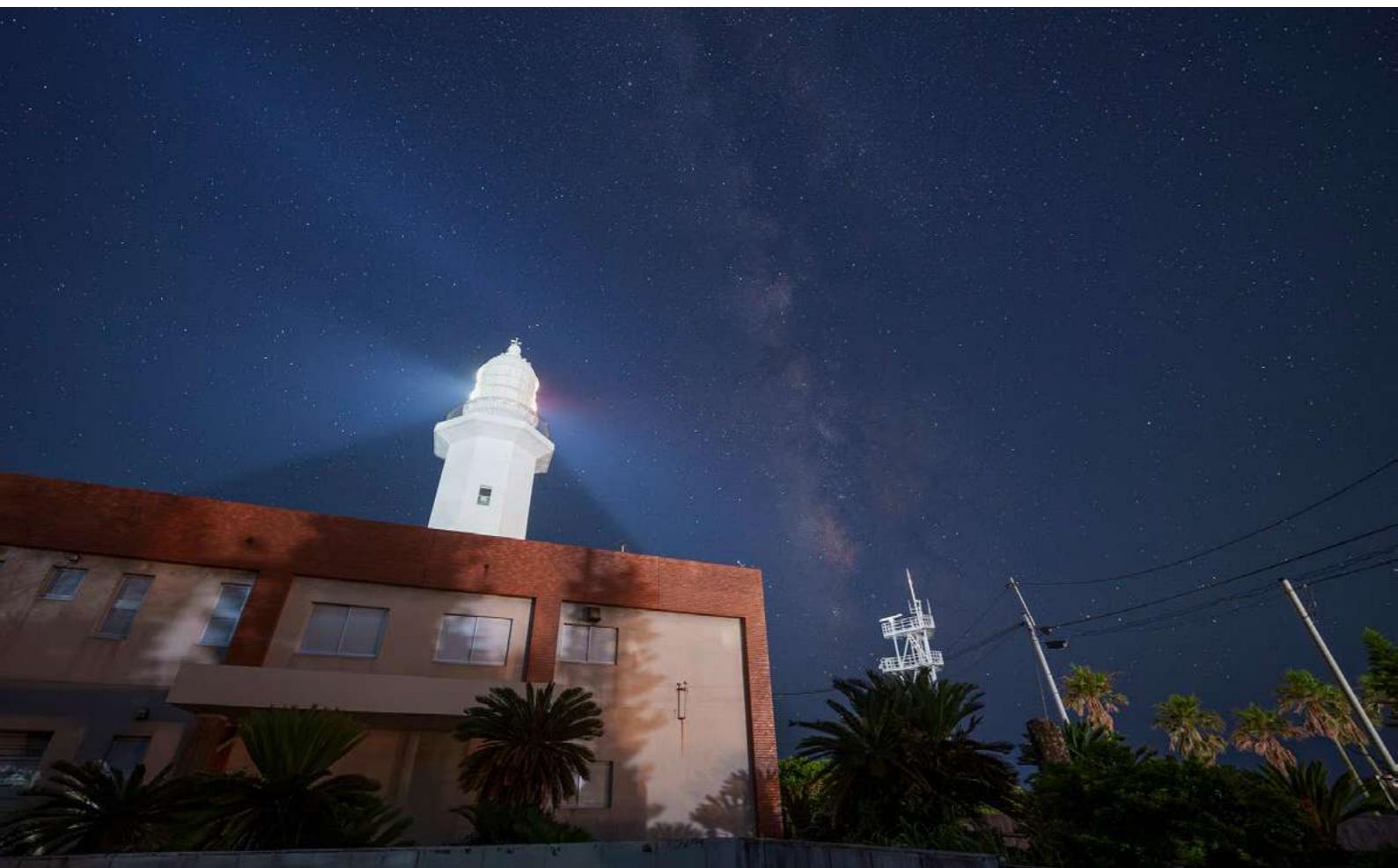


野島崎灯台利活用プロジェクト委員会

南房総市ナイトタイム エコノミー促進調査事業

対象灯台：野島崎灯台（千葉県南房総市）

最終成果
報告書・
報告動画



調査検証の目標

～あきらかにしたい仮説

「野島崎灯台×星空」イベントは
収益化と継続実施が可能で、実施により、
南房総市のナイトタイムエコノミー促進に資するのか



南房総市は、都心から
90分というアクセスの良さから、宿泊せずに日
帰りで観光を楽しむ人
や、観光地の動線上、
千葉県内の他エリアに
宿泊をする人が多く、市
内消費額が上がらない
課題を抱えている



海に囲まれた立地のため光が少なく、星空鑑賞にも適した場所

調査検証事業

① 基礎調査 ② ツアー造成と収益事業化検証

9月21日、22日、11月3日開催「野島崎灯台夜間特別開放！ 灯台&星空観察会」
12月21日開催「野島崎灯台夜間特別開放！ 灯台&星空撮影教室」



野島崎灯台の星空タイムラプスマービーを
合計3本作成、YouTubeにて公開



モニターツアー実施にあたり、
ガイドスクリプトを作成





門脇埼灯台観光推進コンソーシアム

門脇埼灯台 利活用推進プロジェクト

対象灯台：門脇埼灯台（静岡県伊東市）

最終成果
報告書・
報告動画



調査検証の目標 ~あきらかにしたい仮説~

門脇埼灯台の新たな魅力発掘と観光誘致

門脇埼灯台を中心とした城ヶ崎海岸エリアへ、
日本出版販売株式会社が企画運営する音声MR技術を活用した
ソリューション「ボイスフレンド」のサービス開始に向けた
地域・自治体等との連携体制構築および次年度計画策定を目指す



調査検証方法

- 門脇埼灯台の基礎調査
- 門脇埼灯台周辺の調査および自治体/関連団体との連携
- コンテンツ制作と実証実験
- 実証をふまえた来年度計画

音声MR技術を活用したイマーシブツアーの実証▶



調査検証の成果

→ 設計・コンテンツ



① 空間スキャン完了

周遊型の企画を行うことでの回遊性を検証

→ 事業者・自治体連携



① 限定グッズの販売

灯台近くにある売店（城ヶ崎ビューテラス）にて
ボイス付の限定グッズの販売実証を開始



② 燈の守り人コラボレーション

灯台でしか体験出来ないコンテンツ制作を行う



② 伊東市・観光協会との連携

灯台と周辺観光地域における協力体制を構築。
駅周辺等でイマーシブツアー告知物連携も

あきらかになった課題とその解決のための施策案

→ 課題

- 門脇埼灯台の認知度向上
- 門脇埼灯台と周辺地域との連携
- 門脇埼灯台の魅力を伝える
コンテンツ

→ 施策案

- 移動・宿泊拠点での灯台接点拡大
- 灯台周辺×地域と連携した相互送客
- 灯台や地域の歴史を知るコンテンツ

メディア露出

NHK、静岡朝日テレビ、テレビ静岡、
静岡新聞、伊豆新聞などのべ73媒体





室戸岬灯台・旧官舎及び周辺敷地利活用共同体

室戸岬灯台及び旧官舎の宿泊事業化に向けた実証事業

対象灯台：室戸岬灯台（高知県室戸市）

最終成果
報告書・
報告動画



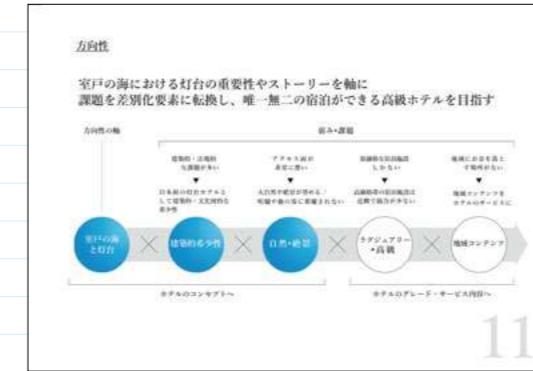
調査検証方法

- 1 室戸岬灯台の基礎調査
- 2 仮説①「コンセプト」の検証
- 3 仮説②「ホテルサービスとなる地域コンテンツ」の検証
- 4 仮説③「モビリティ」の検証
- 5 仮説④「運営体制」の検証
- 6 仮説⑤「旧官舎の建物としての利用価値・利用可能性」の検証
- 7 仮説⑥「客単価と稼働率」の検証

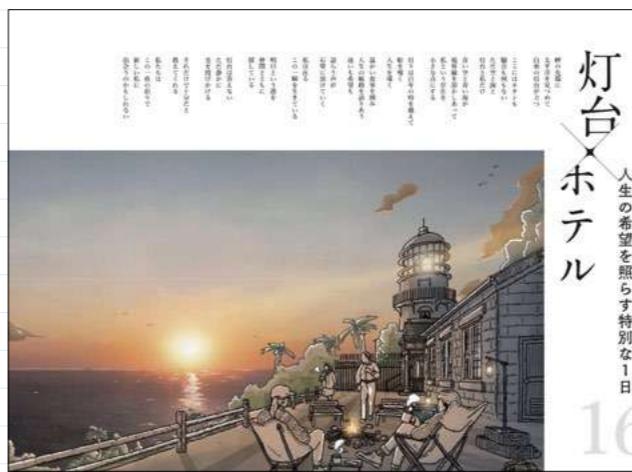


最終成果報告書(一部抜粋)

基礎調査や現状整理をふまえ、
「灯台ホテル」のコンセプト、
コンテンツ・サービス、モビリティ等を検証



31



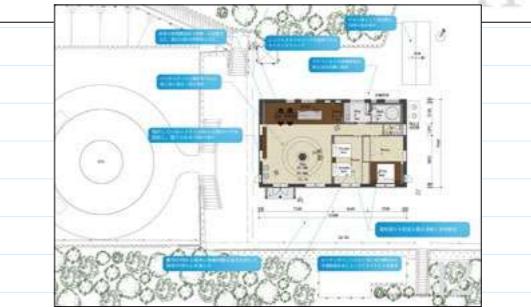
16



15



40



41

今後の計画

- ホテル化における効果や実現可能性の見通しが立ち、実際の着手時における課題も明確になった
- ホテルの事業化に向けて、これらの課題を一つひとつ解決しながら、地域全体が一体となって実現を目指していく



積丹町地域活性化協議会

「神威岬灯台カレッジ」 プロジェクト

対象灯台：神威岬灯台（北海道積丹町）



- 「地域産業」「地域活力」の衰退が深刻
- 神威岬自然公園への観光客は年間約90万人もいる一方、灯台は未利用に近い状態の資源

**新しい海洋文化コンテンツ
「学ぶ観光」**



目標と達成状況

達成状況（2025年2月時点）

目標 ①	灯台への 関心づくり	造成したものの運用は4月以降となるが、町内外問わず、多方面から関心を寄せて頂いており、展示室のお披露目時は北海道新聞などメディアにも広く告知を行い関心層を高めていく計画。
目標 ②	関心を持つ（持った） 層を離さない 仕組みづくり	関心層を顧客へと繋げるツアーを確立。一方で、ふるさと納税返礼品とするには磨き上げが必要と判断。新たに開校する「株式会社SHAKOTAN 海森学校」に造成したツアーの管理を引き継ぎ、継続していく。

事業内容



① 神威岬灯台プレミアムナイトツアー



② 第一等不動レンズ展示室の改修工事



③ 神威岬灯台「教科書」の作成

今後の計画

「次世代へ豊かな資源をつなげていく」 人材の育成

地域おこし協力隊の雇用

北海道認定アウトドアガイド 資格（自然）の取得

展示室館内ガイドの実践

灯台ボランティア会の設置

教育現場における学習支援

メディア露出

北海道新聞、めざましメディアなど、 のべ56媒体





生地地区灯台利活用プロジェクト実行委員

生地エリア 魅力発掘プロジェクト

対象灯台: 生地鼻灯台(富山県黒部市)

最終成果
報告書・
報告動画



事業背景

灯台の下に集い、かつてのまちの賑わいを呼び戻そう

2023年度、「灯台ナイトマーケット」を初開催。

実施体制、ロゴ入りテント等の備品整備をはじめ開催スキームを作った



目標と達成状況

目標

2024年度は収支と広報に力を入れ、
2025年度以降、定期開催できる実施体制や事業計画を整える

「生地鼻灯台マーケット」として、朝から夜までの実施に

天候に恵まれなかったため100%達成とは言えないが、キッチンカーなどの出店を増やすことで実施体制に余裕ができ、イベントの形を確立することで、2025年度以降の「形」が見えた。

達成状況(2025年2月時点)



▲ キッチンカーが多数出店

生地鼻灯台マーケット

地域のメンバーの連帯感が強く、一体となってイベントを実行



9.21 (sat) & 10.19 (sat)

10:00~20:00 10:00~21:00

【主催】生地鼻灯台利活用プロジェクト実行委員会 【お問い合わせ】実行委員会事務局 090-9765-7878

【実行】ファンタジー IKUJI 実行委員会・北洋の鷲(丸中水産株式会社)・漁村文化ミュージアム IKUJI 福建会

【協賛】(株)アーバンリサーチ



メディア露出



生地鼻灯台マーケット
灯台の価値を再認識し
地域活性化につなげようと開かれた

▲ 富山テレビ「ライブBBT」



北陸中日新聞 ▶

今後の計画

2025年5月～
「生地鼻灯台マーケット」
定期開催

県外からの集客、
地元の祭りとの
連携などにも取り組む



野間埼灯台ポータル化実行委員会

野間埼灯台 ポータル化プロジェクト

対象灯台：野間埼灯台（愛知県美浜町）

最終成果
報告書・
報告動画



目標と達成状況

目標

持続可能な事業体制の検証とプログラムの創出を行い、
現代版灯台守の自活を目指す

「現代版灯台守」が活動できる常設拠点としてキャンピングカーを設置、
専任の人材活動を開始。灯台を中核とした地域経済の活性化を目指し、
灯台を守り育てる仕組みを地域一丸となって推進

達成状況（2025年2月時点）

現代版灯台守の
本格活動開始

- 灯台キッチンカー＆灯台開放の拡大
- 地元マルシェ「大坊の楽市」復活
- 灯台ウェディングフォトサービスの強化



▲ キッチンカーでタコスなどの
飲食物の販売を開始

事業内容

① ビジターセンター事業

▼ 灯台サウナ



▲ 灯台開放

▲ 灯台キッチンカー

② 灯台ウェディング撮影事業



③ イベント事業



左:灯台ホリデイ

灯台ガイドツアー、チ
アリング、特典割引ブ
ックの配布を実施

右:大坊の楽市

コロナ禍で中断されて
いた「大坊の楽市」を現代
版灯台守の主催により5
年ぶりに復活開催

メディア露出

テレビ愛知、TSSテレビ新広島、
中日新聞、朝日新聞など
のべ234媒体



今後の計画

現代版「灯台守」を
中心としたチームによる
運営を通じて、
地域の活性化を促進

地域を巻き込んだ事業や、
レンタル事業などにも取り組む



安乗崎灯台観光活性化推進コンソーシアム

安乗崎灯台 利活用推進事業

対象灯台: 安乗崎灯台(三重県志摩市)

最終成果
報告書・
報告動画



目標と達成状況

目標

地元特産品販売やワークショップ、灯台ライトアップなどの魅力的なコンテンツを企画し、SNSや地域メディアを活用して積極的に広報する。地元企業や団体との連携を強化し、協賛や出店を募ることで収益確保を目指す。

達成状況(2025年2月時点)

「安乗崎灯台マルシェ」が地元の名物イベントとなり、2024年度以降、定期開催できる実施体制や設備、事業計画・収支計画が整った。自己資金の目途が立った。



事業内容

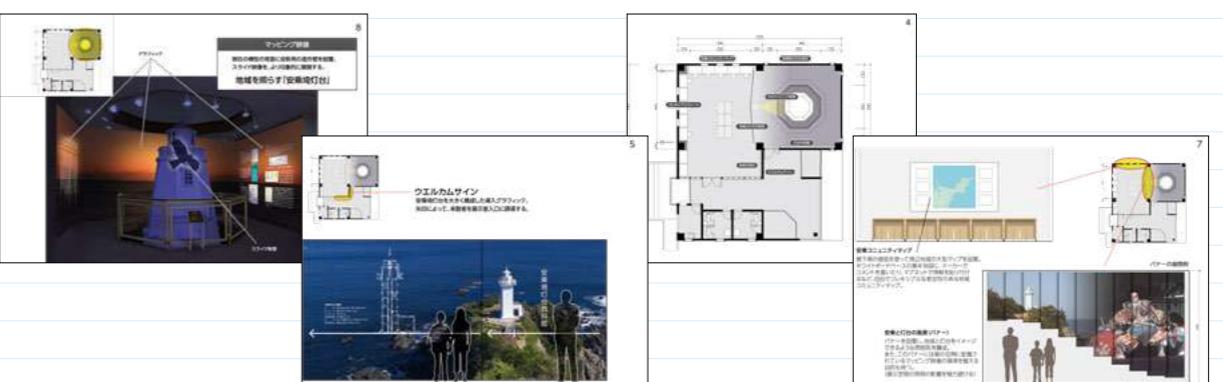
① 安乗地区住民による安乗地区観光活性化事業の試行



② 安乗地区観光活性化ワークショップの実施



③ 志摩市立安乗崎灯台資料館の基本設計の実施 ▼ 資料館リニューアル基本プラン(2025年2月時点版)



今後の計画

- 灯台資料館を核とした民間主導型体制づくり
- 安乗崎灯台観光活性化プラットフォーム形成
- 公益性と収益性を両立させた事業実施





日御碕・鷺浦灯台利活用プロジェクトコンソーシアム

灯台FES日御碕2024

対象灯台：出雲日御碕灯台（島根県出雲市）

最終成果
報告書・
報告動画



目標と達成状況

目標

「灯台FES日御碕」の持続可能な開催を目指し、次年度以降の自走化に向けた道筋をつける

2024年7月の豪雨災害により日御碕地区につづく道路が陥落。災害・ピンチをチャンスに転換し、これまで地元にとって“お客様”だったFESを、自分ごと化することで持続可能な灯台FESに

達成状況（2025年2月時点）

- ◎県内外から約2,200人が来場
- ◎若手有志や、地元自治会、地元土産物組合など、日御碕地区の住民との連携を強くすることで、地元の人たちに愛されるイベントを開催



灯台FES日御碕2024

灯台の下でのステージイベントやグルメ屋台などを実施



▲ 灯台グルメを特別メニューとして提供

▲ 復興支援募金＆大抽選会を開催

メディア露出 86媒体



▲ TSK Live Newsイット!



▲ 山陰中央新報

今後の計画

灯台FES日御碕2025 ～バズるFES～

2025年は5,000人以上の来場を目標に。集客アップで、協賛増を図り、自走化へ



佐田岬灯台利活用推進コンソーシアム

佐田岬灯台 利活用推進プロジェクト

対象灯台: 佐田岬灯台(愛媛県伊方町)

最終成果
報告書・
報告動画



目標と達成状況

目標

- ◎過去2か年に灯台官舎跡地を中心としたハード整備構想に取り組む
- ◎ソフト事業として、灯台に携わる人材=燈人(あかりびと)育成を実施

達成状況(2025年2月時点)

ハード事業

具体的な事業計画の策定を完了
新たな課題も見つかったため、引き続き議論を行う

ソフト事業

地元高校と連携した燈人育成プログラムは、
次年度以降もゼミ主体で自走化する見込み



ハード事業

2拠点整備に向けた具体的な事業計画の策定



ソフト事業

◎三崎高校と連携した灯台絶景カフェ「せんたん珈琲」



◎「佐田岬燈人検定」の実施



ハード×ソフト

賑わい創出イベント「渚のエメラルドマルシェ」



今後の計画

ハード整備構想の実現、燈人育成の自走化

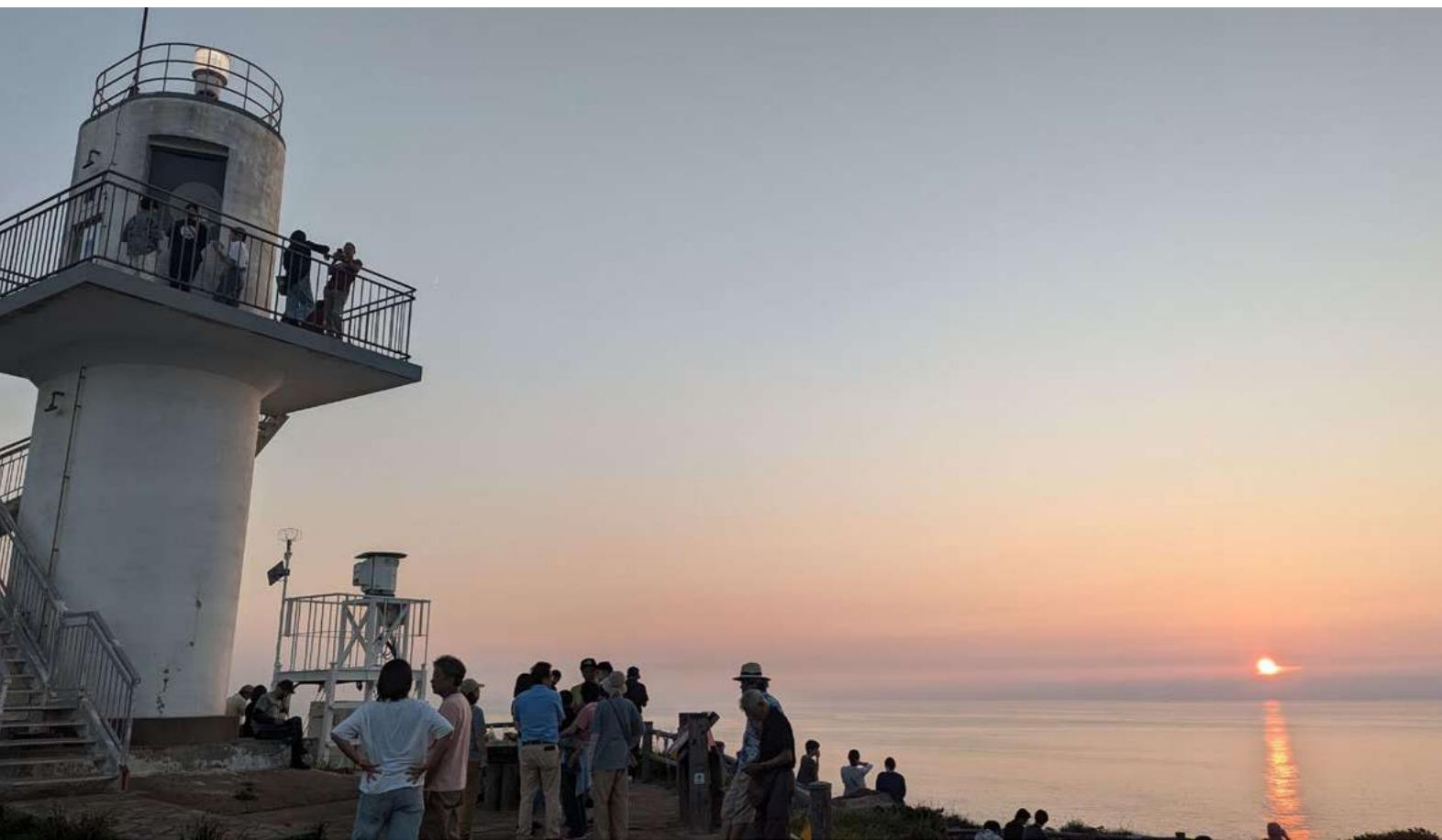
ソフト事業で育成した「燈人」が、ハード整備構想実現後の施設で活躍する仕組みへ



灯台からのメッセージ運営委員会

灯台の灯りで未来に ツナゲルプロジェクト

対象灯台：大バエ鼻灯台・生月長瀬鼻灯台（長崎県平戸市）



事業背景

2022年度、2023年度の活動を経て、2分化されていた島が1つになり、
灯台を基軸に島の魅力のアウトプットができた



目標と達成状況

◎ 2灯台間を繋ぐレンタルライドの購入

→ 7人乗り「トゥクトゥク」を購入、地元の方々で「イキトウキ」と命名され、愛される存在に

◎ 定期的に開催するイベントの実施

→ 9月7日・8日に「灯台ナイトカフェ」を開催連日100名を超える人々で賑わい、大変好評となった

◎ 大バエ鼻灯台周辺の整備

→ 生垣の撤去と役割のある2種類の安全策の設置で使いやすい園地に

事業内容

① 2つの灯台を繋ぐ「トゥクトゥク」の購入



② 「灯台ナイトカフェ」の開催



③ 生垣の撤去、ウッドテラスとガビオン柵の設置工事



▲ 願い事を書いた石を詰めるガビオン柵

今後の計画

地元出身の若者を中心に「灯台デモクラシー」と銘打ち
生月の魅力を活かした様々なコンテンツのイベントを定期開催!





細島灯台灯りの輪

HOSOSHIMA TOUDAI AKARINOWA PROJECT

対象灯台：細島灯台（宮崎県日向市）



目標と達成状況

目標

- ◎ プロジェクトが市民に認知され、実施するイベントが市内外から多くの人が訪れる日向市の一大イベントになることで、細島灯台を中心に地域経済が活性化し、「細島灯台」が日向市のシンボルとなる
- ◎ 2026年度までに本プロジェクトを継続して開催できる
実施体制・設備・収支計画が整う

達成状況（2025年2月時点）

- ◎ イベントの実施を通じて次世代を担う子どもたちを中心
細島灯台の認知度を高めることができた
- ◎ 事業を通じて子どもたちを中心とする日向市民が
細島灯台に非常に関心を持っていることが分かった
- ◎ 実施体制、収益化については課題が残っているため、
次年度より深く実証していきたい



事業内容

① 「HOSOSHIMA TOUDAI FESTIVAL」の開催



② 細島灯台オリジナル動画制作



③ 細島灯台環境イベント 「日向岬SDGsツアー2024」の実施



④ 灯台周辺環境整備の実施



▲ 灯台までの遊歩道に安全柵を設置

メディア露出 102媒体



▲ みんなの経済新聞

Project 3

海と灯台利活用チャレンジ企画事業

灯台利活用の事例拡充と機運醸成を目的に、

「新たな灯台利活用モデル事業」の入門編として、

灯台を生かした単発の試験的な取り組みを行う団体を公募。

厳正な審査を経て5団体を採択し、イベント実施やコンテンツ制作などに取り組んだ。



三国防波堤灯台

福井県坂井市



ガイドツアー 「三国まちあるき」の実施

- 海と灯台を通してまちのなりたちや歴史に触れるガイドコンテンツを開発
- 音声ガイドや散策リーフレットを制作

御前崎灯台

静岡県御前崎市



御前崎灯台150周年記念 「風と灯台フェスティバル」開催

- 灯台参観&資料館開放
- 風車づくりコーナー、灯台周辺の装飾
- メッセージパネルコーナー
- 子ども向け体験コーナー など



尾道灯台・大浜埼灯台

広島県尾道市



灯台を起点とした 宿泊需要喚起のための実証調査

- 灯台を起点としたクルージングツアー
- マーダーミステリーのトライアル
- 都市プロデュース建築家を招いたシンポジウム

釣島灯台

愛媛県松山市



「灯台ラジオ」の放送

- 2023年に開催されたイベントでの杉作J太郎さんの提言により放送が実現
- 俳優のリリー・フランキーさんが出演
- 同日、釣島灯台モニターツアーも実施

薩摩長崎鼻灯台

鹿児島県指宿市



「薩摩長崎鼻灯台イベント」の開催

- 灯台の下から「想いを叫ぶコンテスト」
- 灯台マルシェ
- 灯台の解説ブース など



「海と灯台学」2024年度の主な取り組み内容

- ◎既往研究・データの収集整理、不足分野の基礎調査
- ◎研究者ネットワークの構築
- ◎共同研究会の開催
- ◎「海と灯台サミット2024」での発表・展示
- ◎研究紀要「海と灯台学ジャーナル」創刊準備号の編集・発行

「海と灯台学ジャーナル」創刊準備号 目次

1. 「海と灯台学ジャーナル」の立上げによせて

- 忘れ去られゆく海洋文化—灯台とともに紡ぐ新たなナラティブ

2. 特集 海と灯台学を捉える視点～世界・日本・地域～

【Part.1 値値の再発見】

- グローカルのシンボル・灯台
- 日本の灯台の灯器(光源)の変遷
- 海から見た牛窓の景観～古墳・寺院・燈籠堂～
- 北前船の航海を支えたランドマーク～常夜灯・日和山・灯台～
- 灯台の足下から見える地球の記憶と地域の歴史
- エコツーリズムと灯台～灯台の社会的価値の把握手法の開発
- リスクと灯台



【Part.2 新たな価値の創造】

- 産業遺産研究の論点と灯台
- 灯台の100年後に想いを馳せて～重要文化財指定の意義～
- 島の子供たちと菅島灯台
- 景観資源としての灯台の活用可能性
- 新たな灯台の役割と地域社会～野間崎灯台の取り組みについて～



3. 海と灯台学研究ノート

- 灯台の保護に適用できる国際認証の比較検討～世界遺産・無形文化遺産・ユネスコ世界ジオパーク～
- 日本の灯台の価値を可視化する～建造物編～
- 灯台へ向けられた「まなざし」に見る可能性
- 心象風景・地域の象徴としての「灯台」～シーニックバイウェイ北海道函館・大沼・噴火湾ルートでの取り組み～



Project 5

特別番組

海と灯台

未来への輝き

灯台の魅力を再発見し、地域資源として利活用しようとする

全国各地の取り組みを追ったドキュメンタリー番組「海と灯台 未来への輝き」を制作。

灯台の新たな価値創出に携わる人たちに焦点を当て、

灯台が人や地域の未来を導く希望の灯りとなっている姿を描いた。

テレビ東京系列6局で放送したほか、見逃し配信を行った。



開催日時

2025年2月22日(土)16:00~17:15

放送局

テレビ愛知発TXN系列6局

(テレビ北海道、テレビ東京、テレビ大阪、テレビせとうち、TVQ九州放送)全国ネット

語り

志田未来

番組内容

◆ Chapter1 野間崎灯台…「現代版灯台守」の活躍

◆「海と灯台プロジェクト」の仕掛け人・日本財団 海野光行常務が語る灯台の魅力

◆ Chapter2 潮岬灯台…日本初!?「灯台ホテル」

◆ Chapter3 生地鼻灯台…別名パンダ灯台に集う人々

見逃し配信

放送終了後から3月23日(日)まで、「Locipo」「TVer」にて配信

反響

視聴者からの感想(Xより)

* 灯台巡りとか良きドライブコースになりそう

ひとまず番組で紹介された美浜の野間崎灯台行ってみたい!

* いつか全国の灯台をまわりたいと思ってたけど

富山の灯台行ってみたくなったな。LEDじゃないなんて激アツすぎる。

登れる日があるのかあ。いいなあ。

Project 6

作家との連携による 灯台価値の創出

人気作家が全国各地の灯台を訪ね歩き、
その歴史的・文化的・地域的な価値を文学的な視点で綴った

紀行エッセイを文藝春秋「オール讀物」に連載。

同社が運営するウェブサイト「CREA WEB」にも写真点数を増やして転載した。

6人の作家による灯台紀行エッセイを一冊にまとめた

紀行集『灯台を読む』も刊行。

「海と灯台サミット」には直木賞作家4人が登壇し、
それぞれが取材した各地の灯台に刻まれた海の記憶を語り合った。



写真提供:文藝春秋

● ● 2024年度 2人の直木賞作家の紀行文を掲載



写真提供:文藝春秋

永井紗耶子

- 清水灯台
- 御前崎灯台
- 掛塚灯台

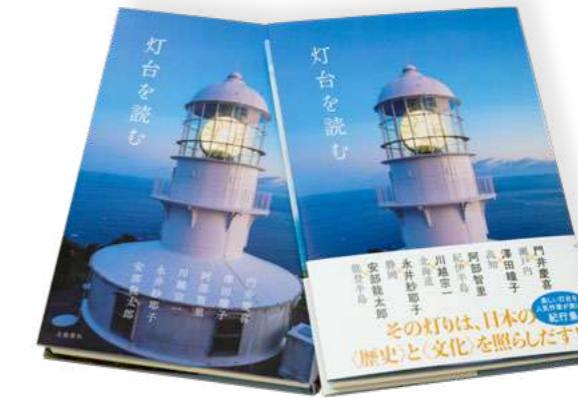


写真提供:文藝春秋

村山由佳

- 野島崎灯台
- 勝浦灯台
- 太東崎灯台

● ● これまでの連載をまとめた書籍「灯台を読む」発売 ● ●



書名:灯台を読む

執筆者:門井慶喜/澤田瞳子/
阿部智里/川越宗一/
永井紗耶子/安部龍太郎

発売日:2024年10月10日

発行元:文藝春秋社

初版:5,000部

門井慶喜×瀬戸内海

鍋島灯台(香川県)
美保関灯台(島根県)
出雲日御碕灯台(島根県)

澤田瞳子×高知県

高知灯台(高知県)
室戸岬灯台(高知県)
足摺岬灯台(高知県)

阿部智里×紀伊半島

潮岬灯台(和歌山県)
櫻野崎灯台(和歌山県)
安乗崎灯台(三重県)

川越宗一×北海道

永井紗耶子×静岡県

神威岬灯台(北海道)
鷗島灯台(北海道)
恵山岬灯台(北海道)

安部龍太郎×能登半島

能登観音崎灯台(石川県)
祿剛崎灯台(石川県)
生地鼻灯台(富山県)
立石岬灯台(福井県)



写真提供:文藝春秋



写真提供:文藝春秋

NNNストレイトニュース(南海放送)
2024年11月8日



ライブBBT(富山テレビ)
2024年11月5日



テレビ放送82件 ラジオ4件を含む

長崎新聞 2024年9月13日



新聞など 紙媒体

49件

北海道新聞 2024年11月12日

WEB媒体 PR TIMES転載を含む **2,009件**

地域創生メディア Medial 2024年11月22日



REPORT メディアの広がり

海と灯台プロジェクト WEBおよびSNS展開



新たな灯台利活用モデル事業 特設ページ

記事はこちら

Case1 小学生「灯台博士」

灯台が大好きな小学生・小林慧大くんの

紹介記事をWebサイトに掲載

複数メディアから

小林くんに関する問い合わせも

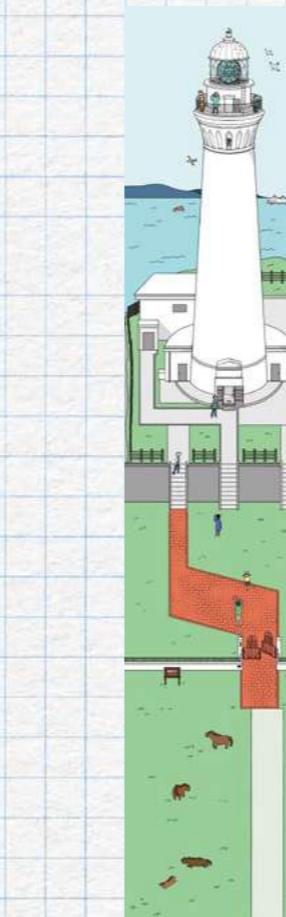


Case3 高校生が「灯台」を探求してみた

「純心女子高等学校(長崎県)」の1年生が、

探求学習のテーマに「灯台」を選定。灯台の歴史や、建設された背景、

灯台が多く立地する地域などについてグループで研究に取り組んだ

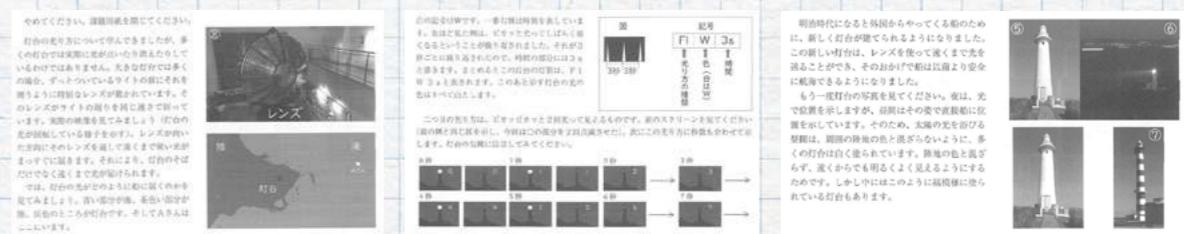


Case2 「灯台」が中学校の入試問題に

「桐朋女子中学校(東京都)」が、入学試験問題テーマに「灯台」を選定
灯台の色・形や光り方を題材とした問題が出題された

こちらの写真を見てください。陸地の先端に立っている白くて大きな灯台です。みなさん、灯台を見たことはありますか? このような大きな灯台は、遠くの海の上からよく見える場所に建てられています。灯台は船が安全に航海するための目印です。灯台によって、船に乗っている人は、自分が今どこにいるかを知ることができます。今日は日本の灯台について学んでいきましょう。

このような大きな灯台がまだなかった昔、船に乗って海の上にいる人は、自分が今どこにいるか、どのように知ったのでしょうか。陸地では、海の上にいる人のためにどのような工夫をしていたのでしょうか。今から1200年ほど前の平安時代には、屋外で照明用に燃やす火が、海上の船のための日印として使われました。これは「かがり火」と呼ばれるものです。「かがり火」とは、屋外で



Case4 高校生運営の「灯台カフェ」

「三崎高等学校(愛媛県)」の生徒が、灯台の麓でカフェを運営
オリジナルブレンドのコーヒーや、灯台をモチーフにしたパフェなどを販売



Case5 専門学生が「灯台」で卒業制作

グラフィックデザイン系の専門学校に通う学生が、「灯台とその周辺の魅力を広めるためのイラストとパンフレット」を卒業制作として作成、展示した
▲尻屋崎灯台のパンフレット



2025年度に向けて

「旅と灯台」—— 最果ての光が、人生を照らす

なぜ、ここに灯台は立っているのか。

その問いは、目の前の風景を変えます。

海が空と溶け合い、地平線がどこまでも続く果てしない世界。

その絶景に圧倒され、一瞬、いま、この世界には自分しかいないと錯覚します。

けれど、その孤独さには、不思議と満ち足りたものを感じます。

灯台の光が、広い世界の向こうに続く何かをそつと示し、

その光に、自分の人生を重ね合わせことがあるのです。

現在、過去、未来——。

自分はこの広い世界とつながっているのだと気づいたとき、

ふと心が整い、何かがほどけるような感覚が生まれます。

最果てに立つ灯台は、「辿り着いた人にしか見えない景色」を持つ場所です。

そこに立つことで、目の前の景色が、そして自分自身の内側が、少し変わっていきます。

その道程にも、意味があります。

ドライブやツーリングで風を感じ、地域の食や文化に触れる。

旅の途中で出会うものが、最果てに立つ瞬間をより特別なものにしてくれるのです。

そして灯台は、**人生を見つめ直し、心が整う場所**になっていきます。

いま、灯台は「旅の目的地」として、静かに注目を集め始めています。

私たちは、この機運を本物のムーブメントに育ててまいります。

灯台の光が、あなたの旅の目的地となる日が来ることを願って。